

令和7年度市議会報告会に係る市政に対する事項 特記事項

別紙 1

※番号は各報告書内のもの

【戸賀地区】

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
①	後期高齢者健康診査事業及びがん検診推進事業における集団健診の実施会場について、今年から加茂青砂地区での実施が廃止され、戸賀コミュニティセンターに集約された理由とは何か。引き続き、例年どおり加茂青砂地区でも実施するよう配慮していただきたい。 また、難聴を抱え、指示どおりに動くことができない高齢者がバリウムを用いた胃部X線検査を受ける際、検査技師の対応が厳しいとの不満があることから、対応を改善されたい。	子育て健康課	市では、毎年、健康診査事業を委託している団体と健診の実施方法等について協議しながら決定しています。 近年、健診事業については団体側の人材不足のほか、燃料費をはじめ様々な物価高などの課題が生じてきており、これらの解決のため、健診会場の集約化について検討してきました。 こうした中、加茂青砂地区の集団健診受診者数が以前と比較すると減少傾向にあり、直近3年の平均の受診者数は13名程度であったことから、地域と相談のうえ、健診会場を戸賀地区へ集約化させていただいたものです。 健診会場を戸賀地区と集約するにあたり、事前に地区会長と協議し、令和7年1月の地区の総会においても説明したとおり、希望者に対してタクシー送迎を行うなど、加茂青砂地区の皆様が受診しやすいよう配慮に努めています。 検査技師の対応については、受診者の方に不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。今後このようなことがないよう、受託事業者である秋田県総合保険事業団に対し、強く申し入れをいたしました。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
⑤	松くい虫被害木の伐倒後の被害拡散に懸念を抱いている。必要に応じて破碎処理やくん蒸を実施するとしているが、戸賀港防風林や帝水周辺をはじめ、伐倒したままの状態が市内全域で散見され、景観も悪ければ、草刈り作業等の支障にもなっている。伐倒木を一か所に集約していただければ、申請により薪ストーブ用などに使用する一般住民が自由に持っていくことが可能となるが、大潟村で実施されているこの方法を検討できないか。	農林水産課	松くい虫被害木は観光拠点や道路沿線上の危険木を優先的に伐倒しており、伐倒後の被害木については、景観等を妨げないように対応しています。 伐倒木の一カ所集約については、住民の方々の利用を前提とした場合、集積場所の選定や確保等の課題があります。 伐倒木を薪ストーブに利用することについては、当面、農林水産課に相談いただければ個別に対応いたします。
⑦	戸賀コミュニティセンター体育館の雨漏りが深刻化しており、複数のバケツを設置してしのいでいる状況である。当該施設は緊急避難場所に指定されているほか、各種行事や観光に訪れる団体からも使用されるため、早急に修繕していただきたい。なお、市民憲章の会議の場において、令和8年度予算にて対応すると市は明言されている。	教育総務課	来年度の改修に向けて、建設課等の関係課と連携を図りながら状況を確認し、改修方法、時期など適切に対応できるよう協議を進めていきます。

【北浦地区】

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
③	なまはげラインの樹木の枝払いについては、未実施箇所もあることから、引き続き、対応していただきたい。	建設課	なまはげライン沿線の道路上に張り出した枝については、令和6年度に北浦地区、令和7年5月に男鹿中、船川地区の枝払いを実施しましたが、再度、現地調査を行い、適切に対応していきます。
④	昨年要望した北浦地区における移動販売車の運用について、買物の足として市が推奨している路線バスを利用できない高齢者もいる。うきた商店やニコット北浦店に直接的に行政が働きかけるとともに、赤字運営を想定した支援策を検討するなど、ぜひとも行政が民間事業者を牽引する形で持続可能な移動販売車の運用を実現していただきたい。	企画政策課	北浦地区における移動販売車の運用については、令和6年度市議会報告会においてもご意見をいただき、市としては地域の実情に合った買い物支援の仕組みづくりを研究しているところです。 移動販売は高齢化が進む地域にとって便利な取組であると認識していますが、北浦地区には北浦うきた商店やニコット北浦店といった地域に根差した店舗があり、生活必需品や食料品が揃うほか、生活協同組合による宅配サービスも提供されています。こうした環境において、行政が赤字運営を想定した支援策を講じて民間事業者を牽引することは、公平性や持続可能性の観点から現実的でなく、既存事業者の営業活動を圧迫するおそれもあるため、慎重な対応が必要と考えています。 一方で、路線バスの利用が難しい高齢者への対応や、買い物機会の確保は喫緊の課題であると認識しています。今年度は他の地域において公共ライドシェアの導入可能性調査や乗合タクシーの実証運行など、移動手段の確保に向けた取組・検証を進める予定です。こうした取組の成果や課題を踏まえながら、北浦地区においても地域の実情に即した買い物支援の在り方を検討していきます。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
⑤	行政協力事務交付金事業について、各町内会で規模の大小がある中、均等割を一律5万円としているのはおかしいのではないか。均等割を減額するとともに世帯数に応じた世帯割を増額するなど、抜本的な見直しが必要ではないか。また、行政からの協力依頼が多く、処理することが容易でないことから、手続等を含めて簡素化していただきたい。	企画政策課	町内会規模の大小に拘らず、町内会を運営する上で必要な基本的活動は同様であるという考えから、均等割を設けています。 一方、広報配布など町内会規模に応じて必要な労力には差があることから、世帯割も設けて交付しているところです。 前制度である町内会交付金では、世帯割のみで補助額が決定されていたため、町内会規模の大小によって補助額に大きな格差が生じ、事業内容に見合った補助額にならないという課題があったことから、前制度の補助額を参考に均等割額を5万円としたものです。 この行政協力事務交付金は、小規模な町内会にとって自主財源の確保につながっており、町内会の維持やコミュニティ活動の促進に活用されているほか、町内会へのアンケート結果でも現状維持を望む声が多いことから、補助額の見直しは考えていません。 また、各種補助金等の手続きについては、極力記入箇所を簡略化する等、可能な限り簡素化に努めます。
⑥	道路の白線に加え、横断歩道や停止線、ダイヤモンドなどが消えかかっている箇所が複数見受けられる。また、局所的に補修している道路舗装部分の上記白線が引き直されていない箇所も見受けられる。重要な路線や主要な交差点からでも、優先的に白線工事を実施していただきたい。	建設課	区画線の更新については、主要な幹線道路から優先的に実施しており、北浦地区では令和7年度に湯の尻湯本線、令和8年度にはなまはげラインの更新工事を予定しています。 市では昨年、予算を増額し対応をしてきましたが、引き続き限られた予算の中で計画的に実施していきます。 また、横断歩道や停止線、横断歩道予告標示（ダイヤモンド）などの道路標示については、管理者である県公安委員会に情報を提供し要望していきます。

【男鹿中地区】

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
④	国道 101 号（男鹿中滝川・船川港仁井山間）沿線の枝払いを実施していただきたい。	建設課	現地確認を行い、道路管理者である県へ要望します。
⑤	市役所本庁舎前の園庭は毎年手入れされているが、男鹿中コミュニティセンター敷地内の松など庭木は手つかずの状況となっている。同じ公共施設であるならば、コミュニティセンターも公平に環境整備を実施していただきたい。	教育総務課	コミュニティセンターの維持管理については、エアコンの設置など優先順位をつけて整備を進めています。 環境整備についても、定期的に状況を確認し、計画的に対応していきます。
⑥	滝川河川について、県事業で下流部から順に土砂の撤去作業を実施していただいているが、特に杉下地内については雑木や雑草が繁茂している状況であり、雨量によっては氾濫の危険性が生じている。引き続き、県に対して働きかけをお願いします。	建設課	滝川河川の浚渫工事は、現在、中間口地内を実施しており、上流側の杉下地内についても、県へ要望していきます。

【椿地区】

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
①	昨年議会報告会でも要望が出ていた、増川の大宮バス停付近の雑草が生い茂っている件だが、歩道側の竹藪は改善されたが、海側の雑草や竹藪がガードレールを超えて生い茂っており、見通しが悪く、船川方面からの車が対向車線にはみ出す可能性があり危険である。	建設課	現地確認を行い、道路管理者である県へ要望します。
②	コミュニティ活動推進事業について、上限 10 万円であるが、物価高騰の影響により、活用する幅が小さくなっている。地域の環境整備には上限を引き上げるべきではないか。	企画政策課	令和 6 年度は 87 町内会に補助金を交付しましたが、上限 10 万円の交付は 15 町内会にとどまっており、交付額の平均も約 62,000 円となっています。町内会活動は人口や世帯数により規模の違いはありますが、補助実績を見ると全体的に不足していないものと認識しています。 また、町内会活動の一環として、道路の草刈りや側溝の清掃などを実施する場合、必要に応じてダンプトラックを貸し出しサポートしているほか、今年度からは市道の草刈りを町内会等に委託する道路・河川草刈りサポート事業、いわゆる「アダプト制度」を創設し、地域と連携して環境美化を推進していますのでご活用ください。
③	双六側の館山トンネルの側道（山側）について崩れてきそうになっており、毎年、市の担当課に現地を確認してもらっているが優先順位があり、いまだに対応できていない。計画等提示してくれれば良いがそれもない。地域で草刈りは対応できるが、崩れそうな個所の対応は地域ではできない。防災面でも利用が考えられることから、市で管理していただければ助かる。	建設課	市道蔵台線について、工事の優先順位により中々着工できない状況でしたが、令和 8 年度に実施する予定です。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
④	中台入口の側溝の枯葉の撤去については地域住民で対応するが、マスの枯葉等の撤去は深さもあり地域住民では対応ができないことから、市建設課に毎年４月（５年前から）にお願いしているが、何もされていない。	建設課	道路の集水桝の清掃について、早急に現地調査を行い対応します。 また、今後、集水桝の改修について検討していきます。
⑥	投票所の設置数について、五城目町では 14 投票所から 7 投票所に再編されたが、男鹿市は現在 33 投票所があり、今後編成を検討する必要があるのではないか。また、他市町村では、バスを活用した期日前移動投票所を実施しているが、男鹿市は検討しないのか。選挙にかかる予算や立会人の確保を考えると投票所を減らすべきであるとする。	選挙管理委員会事務局	本市の当日投票所は、平成 22 年の再編以降、33 投票所を維持し、市民の投票機会の確保に努めてきました。 また、近年実施される選挙において、全投票者数に占める期日前投票者の割合は 70%を超え、全国的な傾向と同様、市民への浸透が図られているものと考えています。 しかしながら、当日投票所によっては投票者が 20 人に満たない箇所もあり、立会人等の確保、職員負担を考慮すると、投票環境の在り方について再考すべき時期にあると言えます。 ご指摘の移動期日前投票所の実施に際しては、当日投票所と同様に立会人を要し、また、同日に多くの地点を巡回することが想定されることから、（負担軽減と効率性を考慮したとき）集落が点在する本市の実情にマッチするものなのか検証を進めているところです。 通院や買い物のついでに投票できる期日前投票所の充実や、移動支援の実施等と併せて、投票環境の向上に努めます。
⑦	潮瀬崎から門前集落までの県道にカーブミラーが設置されていたが、数年前に腐食等の影響により撤去された。再度カーブミラーの設置はできないのか。	建設課	現地確認を行い、道路管理者である県へ要望します。

【船川地区】

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
⑦	子育て支援の4つの無償化事業について、成果を数値化し検証しているのか。	子育て健康課	本市では平成27年度から男鹿市子ども・子育て支援事業計画に基づき各種事業を実施しており、事業に対する評価については市民アンケートなどにより把握し、必要に応じて見直しを行っています。 令和6年度の市民アンケートにおいては、本市における子育て環境や支援の満足度について、保育料無償化や給食費無償化などの実施により「高い」「やや高い」が46.2%と令和4年度調査から16.9%上昇し、一定の評価が得られたものと認識しています。 また、少子化の流れを変えるための取組については、出産祝金や教育費の負担軽減などの経済的支援の充実を望む割合が多かったことなどを踏まえ、令和7年度から「お誕生おめでとう祝金」として出産祝金を拡充しており、これら5つの補助金・給付金についても今後、検証を行い、子育て環境の充実に努めます。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
⑧	宿泊施設が増えたが、マーケティングをしたうえで建設をしているのか。3年先、5年先も利用者はいるのか。また、国の交付金を活用していることは良いことだが、市の持ち出しはどのくらいか。	企画政策課 観光課 男鹿まると売込課	本年3月に策定した男鹿市観光ビジョンにおいて、令和11年度までに「宿泊客数15万人（外国人宿泊客数3万人）」の目標を掲げ、観光コンテンツの更なる魅力向上、情報発信の強化、受入態勢の整備などによる宿泊客の増加に向けた取組を行っています。 新たに宿泊施設を開設する事業者は、具体的な需要を含めた市場分析や競合分析、収益予測など事業性の審査を経て金融機関から融資を受けるなどして開業に至っています。 なお、一定規模の投資案件については、男鹿市商工業振興促進条例に基づく奨励措置として施設整備補助金を交付しており、令和6年以降、新規に開業した宿泊施設5施設に対し1億4,777万9千円の補助金を交付し、事業の円滑な立ち上がりと早期の安定操業に向けたサポートに努めています。
⑨	熊対策のための里山の手入れについて	農林水産課	熊による人身被害や農作物への被害を防止するためには、里山の適切な管理が必要であり、森林環境譲与税や補助事業を活用し間伐などの森林整備に努めています。 今年度、住宅や農地の周辺において、熊を誘引する柿や栗等の樹木の伐採に要する費用への補助制度を創設し、集落へ熊が近づきにくい環境づくりを進めています。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
⑩	観光資源のブラッシュアップについて ・ 鵜ノ崎海岸公園から鵜ノ崎テラスまでは、ベンチ等があるがその先は整備されていない。景観が良いので、ベンチ等の整備をしてはどうか。 ・ 男鹿ならではの西海岸やお山かけコースは、国定公園だからという理由で、満足に整備（草刈り等）がされていない。景観維持にも予算を割いてほしい。	観光課 男鹿まると売込課	鵜ノ崎海岸は、階段式護岸となっており、容易に座れる形状となっていますので、ベンチ等の設置は考えていません。 西海岸や寒風山、お山かけコースなど国定公園区域においても、景観維持のために予算措置し、緊急度・優先度を見極めながら草刈り等を実施しています。すべての地域の景観を常に保つことは難しいですが、引き続き景観維持に努めます。
⑪	金川グラウンドと男鹿市民文化会館の間の水路が、整備されておらず、大雨時や災害が発生した際に不安を感じる。	文化スポーツ課	水路は船川港湾事務所の管理であり、同事務所からは現地確認の上、対応すると伺っています。

【脇本地区】

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
③	地域敬老会助成について、参加者 4,200 円／1 人、欠席者 1,000 円／1 人となっており、事務費等を考えると町内会からの持ち出しが増えるため、助成金について見直しを検討してほしい。市からの丸投げではなくて、心温まる内容を考えてほしい。	福祉課	地域敬老会助成金は、各団体の実績状況を勘案し、対象者のお祝いに要する費用として、事務用品代や対象者宅を訪問する際の自動車燃料費、謝礼金、敬老会開催時の運営者の賄い料等を含んで算定しています。 地域の高齢者にとって参加しやすい、身近で無理のない規模での敬老会を開催していただくこととし、令和 3 年度から町内会の開催に移行したものであり、今後も高齢者を敬愛しお祝いする事業として、それぞれの地域において敬老会が継続されるよう、様々な形でサポートしていきます。
⑤	森林環境譲与税について、どれぐらい市に入ってくるのか。また、市と森林組合との関係性と、専任の職員の配置とあるがどのような人で何人くらいなのか。	農林水産課	令和 6 年度の森林環境譲与税額は約 3,500 万円です。 市と森林組合の関係性については、市内の森林の状況に関する情報共有や私有林の間伐など、譲与税を活用した森林整備に取り込んでいます。 専任の職員の配置については、会計年度任用職員として森林、林業関係の行政経験者 1 名を配置しています。
⑥	ゼロカーボンシティおが推進事業について、これは海のことだが農業にも関わることと思われるが、海と陸上での今後の考え方について。	生活環境課	ゼロカーボンシティおが推進事業については、地球温暖化対策実行計画で示した 4 つの柱を軸に海や陸上等において脱炭素化を目指す事業です。今年度は、三方海にひらかれた本市の特徴を生かして、ブルーカーボンクレジットの認証申請を目標とした試験的事業を実施することとしています。 今後は、陸上等についても本市の特徴や強みを鑑みて、効果的な脱炭素事業を検討し取り組んでいきます。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
⑦	令和9年度で蛍光灯の製造が禁止となることから、町内会館等のLEDへの交換について、市としてLEDへの交換費用に対しての補助は考えているか。	企画政策課	集会施設のLED化に特化した補助は考えていませんが、照明工事を含んだ改修工事については、集会施設改修等事業補助金の対象となりますので、当該補助金を活用するとともに、活用希望の際はご相談ください。
⑧	子育てに関する予算・事業は活発に行われているが、高齢者に対しては考えていないのではないか。地域活動をするとき、我々はボランティアで実施しており、費用についても自分たちで負担している。地域に対して、もっと助成を考えてほしい。	企画政策課 福祉課	高齢者に対する事業については、高齢者のニーズに沿った介護予防教室の開催、認知症や家族介護等に関する相談支援、見守り等が必要な高齢者宅への弁当配達サービス、除雪等を行う生活援助事業など、高齢者の健康維持と日々の暮らしに密着した各種事業を展開してきました。 今年度は個別避難計画作成の加速化や補聴器購入助成事業の創設、市独自の健康アプリの導入、自殺予防の取組として老人クラブと連携した心の健康づくり事業を実施するなど、より広範な分野において高齢者に寄り添った支援策の充実を図っていきます。 地域活動について、町内会が取り組む地域の課題解決や活性化等を図る活動に対しては、コミュニティ活動推進補助金を交付しており、また、振興会等が主体となって実施する地域づくりに資する事業に対しては、地域振興基金活用事業補助金を交付しています。こうした補助金をご活用いただくとともに、活動や補助金に関しては地域コミュニティセンター又は企画政策課までご相談ください。

【船越地区】

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
①	昔は男鹿駅や船川港周辺は海釣りができる環境であったが、現在は埋め立てや周辺の整備に伴い、環境が大きく変わった。今後の開発や整備の際には、これまで親しんできた自然環境への配慮をお願いしたい。	男鹿まると売込課 企画政策課	市ではこれまでも、開発整備に際しては、持続可能な社会の実現のため、自然環境に配慮してきました。 船川港周辺は昨年８月に改訂された船川港港湾計画に基づき、海面の埋立による工業用地造成等が実施される場合には、緑地の整備等を行うなど、景観や周辺環境に配慮するよう要請していきます。
②	コミュニティ活動推進事業の対象経費について、例えば、一斉清掃時の町内会員からの車借上や謝礼については補助対象外のため、町内会費の持ち出しとなっている。町内会では補助金を必要な経費に充てられず苦慮しているため、状況に応じた対応を検討していただきたい。	企画政策課	当補助事業は、町内会の「自主的で公益性のある取組」に対し、その経費を補助することを大前提としています。 車借上の名目で現金支給する謝礼などの「一個人に還元する経費」については、制度の主旨に見合わないものと考えています。 なお、環境美化活動については、使用した車両や刈払機等の燃料、草刈替刃などの消耗品は補助対象としています。その他対象経費が不明な場合はお問い合わせください。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
③	敬老会の実施について、町内会の規模により状況は大きく異なるが、500 世帯ある大規模な町内会では、対象者名簿の作成、案内配付、当日の運行計画等、敬老会の準備に多くの労力を費やし、非常に難儀している。特に対象者の名簿作成に関しては、個人情報の観点により市から名簿の提供がないため、役員が住民基本台帳を写し、住宅地図から住所を確認するなど、相当の負担感がある。町内会が敬老会の実施に大変苦慮している状況を理解していただきたい。 また、現状では町内会の負担となっているスタッフの食事代や諸経費の助成を検討していただきたい。	福祉課	名簿作成等に伴う個人情報が必要な場合は、事前に福祉課へ連絡を頂くことで、スムーズに住民基本台帳法に基づく閲覧ができるように配慮し、負担軽減を図っています。 また、地域敬老会助成金は、各団体の実績状況を勘案し、対象者のお祝いに要する費用として、事務用品代や対象者宅を訪問する際の自動車燃料費、謝礼金、敬老会開催時の運営者の賄い料等を含んで算定しています。

【五里合地区】

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
①	鮎川川に沿った市道鮎川・谷地線について、市道の一部が川側に崩れている。市道の補修については、過去の要望の際に、圃場整備事業の終了後に対応する旨の回答をいただいているが、今後の見通しを示していただきたい。	建設課	市道の一部で、段差が発生している原因は、河川のコンクリート矢板の隙間からの土砂の吸いだしによるもので、県の護岸改修工事が完成してから市道の舗装修繕工事を実施します。 それまでの期間は、応急的な補修で対応します。
②	旧五里合中学校解体後の跡地利活用の具体策について。	教育総務課	現在、校舎棟・体育館の解体工事が進行中で、11月に完了する予定です。跡地の利活用については未定であり、民間での活用を視野に、全庁的に協議していきます。
④	人口減少が市の大きな課題である状況においても、市民が豊かに暮らしていける施策をお願いしたい。	企画政策課	人口減少や少子化に関しては、本市の最重要課題として様々な対策を講じ、その抑制に努めてきましたが、思うような成果を得ることができていません。 ご提案のありましたとおり、市としても、人口減少が一定程度進んでも、市民一人ひとりが生きがいと誇りを持ち、地域で心豊かに安心して暮らしていけるよう、道路の補修や除雪の強化などの生活環境の整備、防災力の強化、コミュニティの維持、デジタルを活用した利便性の向上など、生活の質を高め、市民が心豊かに暮らしていける取組を市民と一緒に進めていきたいと考えています。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
⑤	人口減少や少子化に関して、結婚適齢期の男女の出会いの場が少ないことも要因となっている。出会い・交流の場を積極的に設けるなど、行政、地域ぐるみの支援が必要ではないか。	企画政策課	若い世代のライフスタイルや結婚に対する価値観は、従来から大きく変化している現状にあります。 現在、市ではあきた結婚支援センターへの登録料や婚活イベント参加費の助成に加え、今年度からはマッチングアプリを利用した際の利用料助成を始めており、時代に即した結婚支援に努めているところです。 一方、結婚を前面に押し出すような交流の場の提供は敬遠されがちなため、若い世代の意識や生活スタイルに合致した、気軽に参加できるイベントの開催を計画しています。 こうした市の取組とともに、地域ぐるみの支援も必要であり、市民の皆様からは地域における出会いや結婚に関する助言等で結婚活動を支援する「結婚サポーター」を担っていただきたいと考えています。
⑥	市政懇談会の質疑内容をホームページ等で公表していただきたい。	企画政策課	今年度より、市ホームページで公表します。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
⑦	スマホ教室の開催について、特に高齢者を対象としたスマホ教室をもっと拡大すべきでないか。また、地区ごとに開催曜日と時間が固定されているが、多くの市民が参加しやすいよう、曜日や時間を変更するなど、柔軟に対応していただきたい。	総務課	市内 10 カ所のコミセン等で毎月開催しているスマホ教室については、広く市民の方を対象としています。参加者のほとんどが高齢者の方です。 また、開催回数についても、昨年度は月 3 回、年間 33 回開催していましたが、今年度は、全てのコミセン等で月 1 回、年間 120 回開催と大きく規模を拡大しています。各コミセン等との事前協議を踏まえ、定期的に開催することで市民への浸透を図っており、会場によっては定員を大きく上回る受講をいただいているところであり、高齢者の方からも一定の評価を得ているものと考えています。同日の午前・午後、2 か所で開催していることから、参加者それぞれの都合に合わせ、希望する場所・タイミングで受講していただきたいと考えています。 今後の日程に関しては、既に各コミセンと協議を行い、候補日を選定していますが、上半期の実績や市民からの要望を踏まえ開催日に問題がないか検証し、必要に応じて調整を図っていきます。 なお、今年度から、集落支援員等のコミセン職員を対象にスマホ操作等に関する研修会を実施しており、徐々に操作等の技術向上が図られてきていますので、スマホ教室・よろず相談の開催日に限らず、スマホ操作について知りたいことなどがあれば気軽に各コミセン等へご相談ください。

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
⑧	野生鳥獣との共生を目指す大潟村の方針に対し、残存湖や承水路を通りクマやハクビシン等の鳥獣被害が拡大しており、これらの対策を一層講ずる必要があるのではないか。	農林水産課	野生鳥獣による人身被害や農作物への被害を防ぐため、市内の猟友会から推薦された方々による「男鹿市鳥獣被止対策実施隊」を組織し、箱罟や銃猟による捕獲を行っています。 活動の維持を図るため、新たな隊員の募集を行うとともに、狩猟免許や猟銃の取得費用へ補助を行うなど鳥獣被害の拡大防止に努めています。

【若美地区】

番号	市政に対する事項特記事項	担当課	回答
①	人口流出の要因として、地元働く場が少ないことが挙げられる。通勤圏内の周辺地域と連携するなど、地域資源を活用した事業の開発により、地元の方が働ける場を作ることが必要ではないか。	男鹿まると売込課	企業誘致を進めるにあたっては、船川港の港湾用地や空き校舎の利活用など企業ニーズに合わせ、市が保有する資産の効果的な利活用を提案しています。 市としては、港湾を有する優位性を更に生かすため、まずは船川港港湾計画に基づく、船川港の機能強化を着実に進めるとともに、洋上風力発電や港湾関連をはじめ、IT等の情報産業など若者や女性の職場として親和性の高い業種を含め、企業誘致に力を入れていきます。
②	既に要望している旧払戸小学校のグラウンドの草刈りについて、早急に対応していただきたい。	教育総務課	草刈り作業の予算を措置しており、今年度は令和7年7月14日と18日の二日間で作業を完了しています。
③	以前、統合になった学校の備品が住民に提供された経緯がある。旧払戸小学校の備品について、机、イス等は町内会館等で活用する方法もあり、不用備品等の地域住民への提供を検討していただきたい。	教育総務課	各町内会及び市民を対象に、今年の11月を目途に備品の譲渡を行う計画です。まず町内会に無償譲渡の場を設け、その後、市民に有償又は無償で譲渡を行う予定です。
④	旧払戸小学校の体育館を地域住民へ開放していただきたい。	教育総務課	旧払戸小学校体育館は、閉校後の今年4月以降も社会教育、文化、スポーツ、レクリエーション活動及び子どもの安全な遊び場の確保のため開放しています。引き続き地域の皆様のご利用をお待ちしています。